

## ボランティア活動奨励賞

## ボランティア活動奨励賞の過去の受賞者（個人）

番号	団体名等	所在地	主な活動内容	副賞金額 (単位：千円)	対象 年度
1	有川百合子	横浜市戸塚区	丹沢大山国定公園のゴミ撤去活動、 自然保護活動	400	H15
2	ヒロコ・ムトー (本名 相澤 絃子)	横浜市港北区	子どもたちへの、いじめの克服と生 きる勇気を与えるための朗読講演活 動	400	H21
3	神 幸雄	川崎市高津区	CPサッカー（脳性まひ者7人制サッ カー）の普及活動と指導	400	H24
4	杉田 勇	横浜市神奈川区	伝統文化としての紙芝居の保存・発 展と子どもの健全育成	400	H25

(対象)

他のモデルとなるような実践的な活動で、地域社会への貢献度が高く、今後さらに継続発展が期待できる活動に自主的に取り組んでいるボランティア団体等が推薦の対象となります。

## ボランティア活動奨励賞団体

問7 奨励賞の副賞は、何にお使いになりましたか。

平成25年4月～7月に、イランでプロジェクトを行っています。ホームケア研修会として障害者施設で床ずれセミナーを開催しました。福祉省看護師・医師と障害者施設看護師とともに訪問看護活動を行いケアケース会議を行って、日本のホームケアの知識を広めることができました。また、障害者施設においてユニバーサルデザインワークショップと、バリアフリー街歩きを行い、障害者がしやすい施設や街づくりのためのバリアフリー技術を広めることができました。これらは助成金も利用していますが、今回受けた奨励金も利用して、より質の高い資料を作成し、現地での活動に利用しました。残りは、今後横浜で行う予定の横浜フェスタと横浜フォーラムに参加するため、パネル作成費にあてる予定です。

今まで年1回の講演会が2回出来、講師謝礼に当てた。  
外部との交流のため、不登校全国ネットワークの会員となり、年会費の補助に当てている。  
会員相互の情報の交換のため、不登校新聞の購読料や書籍購入費。  
スタッフの知識向上のための研修会や講演会参加の費用の一部補助。  
年一度のスタッフ全員参加の懇親会の費用の一部補助。

なお、残金は今まで例会ごとに毎月発行してきた会報（237号までになっている）を宇宙船20年の歩みとして冊子に纏めたいと思っています。その費用にあてたいと思っています。

長期ボランティアスタッフへの謝礼金  
現地活動車両燃料費  
本部から現地へのスタッフ出張費等

合宿経費の一部  
ウォームアップウェア

建築以来40年以上経て汚れや傷みの目立つようになった拠点のリフォームを検討しています。  
（玄関の床や下駄箱、廊下のカタログスタンドやDVDラック、リビングの壁紙の張替え、事務室の収納等）

広報、宣伝  
年少者向け施設整備（乳幼児含む）  
維持費補助

日吉台地下壕見学者には、案内資料として原価100円の冊子を200円で販売しているが、学生生徒には、発足以来無料配布をしており、しかも近年学校単位の見学が増加しているので、持ち出し金額が増えています。副賞をいただいたおかげで2012年春、冊子五千部作成の補助を頂きました（20万円）。しかし、冊子印刷は2年ごとに行うので、今後も冊子作成時に、必要な金額を使うことができます。大変心強く思いますが、常に持ち出しであることをどのように解消すべきか、難しい点があります。

ガイドのための勉強会資料の冊子作成200部（約4万円）

- ・リング製本機（約24万円）を購入した。
- ・ホームページをリニューアルした。
- ・ユニバーサル絵本の原本、材料を購入した。
- ・障害児の家族向けの、日本にはない冊子を翻訳出版する費用の一部とした。
- ・翻訳協力者が増えたので、点字タイプライターを購入する予定。

啓発講座のなかで使う道具の開発費用や、ピアカウンセリングを持続するにあたりメンバーのスキルアップのために研修受講費用とさせて頂いております。

映画の上映を12月に企画しました。地域の色々な方に見て頂けるよう、無料で開催いたします。映画の上映料金、機材レンタル、チラシ等その他の経費に充てる予定です。

報奨金によって、購入したものが2点あります。ひとつは、桑原史成氏による写真パネル、もう1点は、簡易式立体コピー機です。

写真パネルは出前授業において、水俣の50年間を語るものとして活用。

立体コピー機は、「フォトシティさがみはら」写真展会場での視覚障害者解説に活用しています。

- 1、ユニホーム25枚、のぼり旗セット3セット
- 2、「災害時協力井戸の家」の看板作成費 と設置依頼のための所有者宅訪問の交通費
- 3、プロジェクター、スクリーン、パソコン、HUBなどの防災講習資機材など購入講演・講習時に使用。県内外から月3回程度依頼、会員やサブ会員の研修、講座、講習会に使用
- 4、県外、市外からの防災講習時の交通費や宿泊代の補填  
滋賀県愛荘町、長崎県、前橋、山梨県2回 他など
- 5、東日本大震災復興支援（復興支援ボランティア2回）  
女川：仮設住宅に救援物資を届けた。  
いわき市小名浜：綿農家支援として草刈、草取り、水やり  
義援金バザー2回、義援金募金4回、産地物産品販売軽トラ2台を3回  
自治体で受け入れている被災者への支援などの経費
- 6、会員や連携団体との研修会、視察費用
- 7、他県他市からの視察時接待費用（長崎県新上五島町議会、いわき市などからの視察）
- 8、他市交流会時費用（松田町、二宮町、伊勢原、小田原他など）
- 9、防災教材作成費用

主要スタッフで第30回難治喘息アレルギー疾患学会（つくば、2日間）宿泊して参加し、勉強しました。またその機会に他のNPO団体、患者会や多くのアレルギー専門医の先生方と交流する事ができました。

walkwalk(ワクワク)マップ「湘南みかんのある暮らし」の作成と「まちなか♥遊学文化イベント」の端緒として「二宮の魅力発見！未来に伝えたい写真展」の開催を駅周辺、北口通りなどの13か所のお店を会場にすることができました。また、事務所の階下の空き店舗前と駐車場の空きスペースに屋外に野草等の寄せ植えの鉢や机と椅子を置き、シャッターに二宮の魅力を伝える写真パネルを掲示して、気軽に休憩したり、おしゃべりができる「まちなか♥ほっとスポット」を整備することに使っています。

今年は東大二宮果樹園跡地周辺のwalkwalk地域探検ツアーを増やし、それとも連動させながら、walkwalk(ワクワク)マップ「東大二宮果樹園跡地と湘南みかんのある暮らし」の作成、「まちなか♥遊学文化」づくりを進める「二宮の魅力発見！未来に伝えたい写真展」の開催、「住民力を結集し二宮を輝かせる東大二宮果樹園跡地の活用」をテーマにした伊賀の里モクモク手づくりファーム」の社長をパネリストに招いてフォーラムを開催する予定です。

運営資金に使用させていただきました。

耐震基準に満たなかった旧店舗から、新店舗に移るための、引越し資金になりました。

事業資金一般に使われたことは確かですが、用途の限定のない資金が入ったおかげで、事業の安定化、現状に見られる規模の拡大に大いに役立ちました。

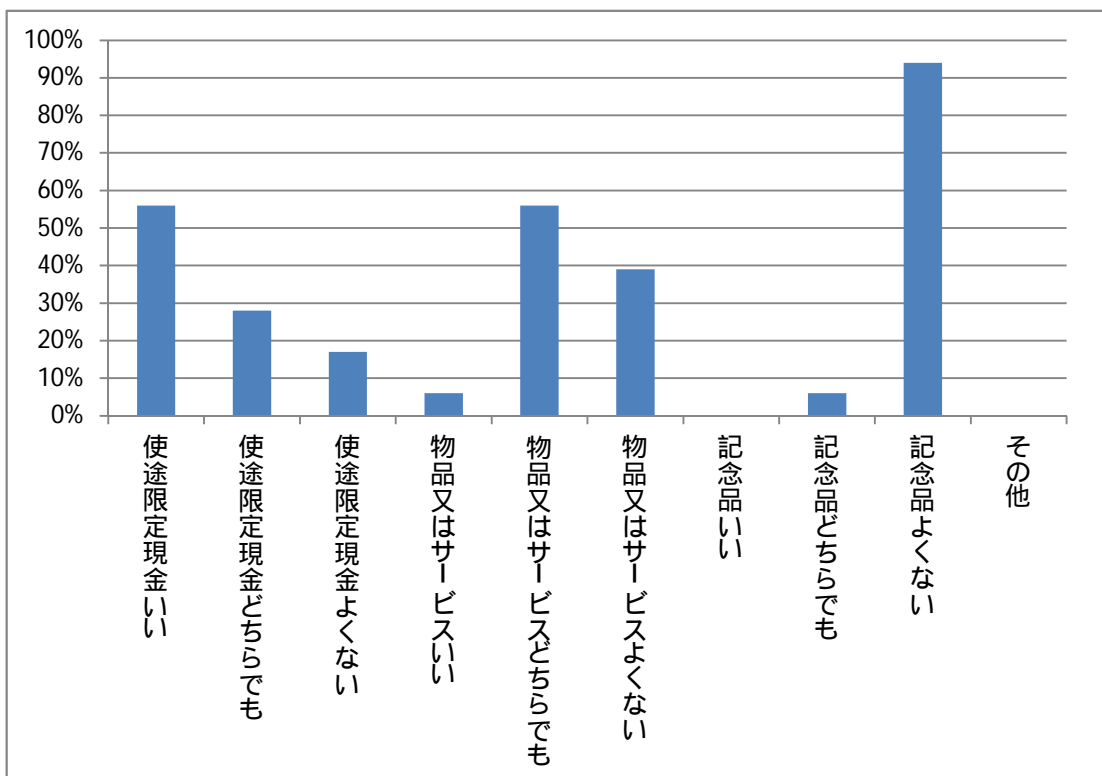
ボランティア活動奨励賞団体

問8 奨励賞の副賞について次のような考え方をどのように思われますか。(n=18)  
(該当すると思われる番号をご記入ください。)

各項目について 1いいと思う 2どちらともいえない 3よくない でご回答ください。

- ア 用途を奨励賞対象活動経費に限定した現金とする
- イ 現金ではなく団体が指定する物品又はサービスを県が提供する
- ウ 現金ではなく記念品とする
- エ その他( )

問8 副賞									
ア 現金			イ 物品			ウ 記念品			エ その他
1	2	3	1	2	3	1	2	3	
用途限定現金いい	用途限定現金どちらでも	用途限定現金よくない	物品又はサービスいい	物品又はサービスどちらでも	物品又はサービスよくない	記念品いい	記念品どちらでも	記念品よくない	その他
56%	28%	17%	6%	56%	39%	0%	6%	94%	0%



ボランティア活動奨励賞団体

問9 現在活動する上で困っていることはありますか。(番号は3つまで)(n=17)  
(該当すると思われる番号をご記入ください。)

- 1 活動資金が不足している
- 2 活動拠点がない
- 3 情報が不足している
- 4 リーダーや後継者が育たない
- 5 新しいメンバーが入ってこない
- 6 メンバーの高齢化が進んでいる
- 7 活動に必要な専門知識がない
- 8 活動や運営方法について、相談できるところがない
- 9 その他( )

問9 課題								
1	2	3	4	5	6	7	8	9
資金	拠点	情報	後継	新人	高齢化	知識	相談	その他
44%	11%	17%	28%	11%	22%	0%	6%	22%

